

高市早苗総理を
内閣府政務官として支える
自民党公認・金子容三。

比例代表も自民党へ



プロフィール

1983年（昭和58年）長崎県出身。佐世保市立木風小学校、青雲中学校、青雲高等学校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、SMB（日興証券）株式会社入社。ウイリアム・メアリー大学（米国）修了、経営学修士（MBA）。2023年（令和5年）衆議院旧長崎4区補選にて初当選。2024年（令和6年）衆議院総選挙で長崎3区にて再選。
▼2児の父。特技は空手道（二段）。趣味はピックルボール。座右の銘は「志在千里」。

豊かな未来を、ともに創る

地域の特徴・ 特性を活かした 産業振興・ 地域経済活性化

地域の強みを活かし、安定した雇用と
「稼ぐ力」を地域につくります。

未来を担う子ども 子育て支援、 教育投資の強化

子育てと教育への投資で、
次の世代が安心して挑戦できる
社会をつくります。

食料安全保障の 確保に資する 農林水産業振興

農林水産業を「守る産業」から
「稼げる産業」へ進化させます。

安心・安全を 確保する安全保障 と防災・減災への 取り組み強化

命と暮らしを守るために、平時から備える
現実的な安全対策を進めます。

持続可能な 社会保障の確立

誰もが年齢や立場に関係なく、
安心して暮らせる制度を支えます。

安全保障の強化も 踏まえた、 さらなる離島振興

離島に安心して住み続けられる
環境を守り、持続可能な地域の
未来を築きます。

地元の課題解決に必要な予算をしっかりと確保することはもちろん、
地域の仲間とともに学び、成長し、挑戦できる環境をつくるか。
それこそが、私が自指する政治家としての姿です。
机上の空論ではなく、現場で汗を流しておられる皆さまの声を丁寧に聞き、
誠実にまとめ、政策として形にしていく。その姿勢を何よりも大切にしてきました。
人口減少・少子高齢化をはじめとした課題の解決には、
何よりもまず「強い経済」をつくることが必要です。
強い経済があつてこそ、防災・減災、子育て支援、医療・介護・福祉を充実させ、
どの世代の方も安心して豊かな人生を歩んでいける社会が実現されます。
豊かな未来を、ともに創る公約を
ご高覧いただきますよう
よろしくお願いいたします。



ふるさと県北地域・五島列島のため、長崎県のため、日本国のために粉骨碎身働く
覚悟で、このたびの第51回衆議院議員総選挙に立候補いたしました。

私の判断軸は、常に一つです。

「それは国益にかなうのか。そして、

地元・長崎県北・五島の幸せにつながるのか」。

写真欄

自民党 金子容三 （43歳）

氏名欄（党派・年齢等）

ようぞう